



8月5日	第1回日臨技災害対策WG	Web
9月5日	日臨技情報共有会	Web
9月23日	近畿支部幹事会	ステーションコンファレンス東京
9月24日	日臨技理事会	ステーションコンファレンス東京

渉外関連

8月3日 第27回和歌山県病院協会学術大会（11/6）プログラム委員会  
プラザホープ3階「特別会議室」

日臨技共済制度について

・感染症罹患共済金制度の保証項目の変更について  
コロナによる自宅待機も共済金の支給対象に盛り込まれましたので、改めて周知いたします。

**2. 令和4年度第4回常務理事会報告**

- ・臨床検査技師へのタスク・シフト/シェアに関する厚生労働省指定講習会
- ・2023年（令和5年）近畿支部医学検査学会
- ・第42回和歌山県医学検査学会
- ・その他（精度管理委員会 審議事項内容の確認）

**3. 事務局報告**

8月15日 2022年度「日本肝臓学会市民公開講座」開催に伴う後援名義  
日本肝臓学会 市民公開講座 和歌山県世話人

8月29日 令和4年度厚生労働省  
院内感染対策講習会参加者推薦について

和歌山県

8月31日 日臨技「認知症ワーキンググループ」より認知症予防啓発  
活動の提案

日臨技

9月12日 令和4年度医療従事者功労者候補者の推薦依頼

和歌山県

9月12日 第27回和歌山県病院協会学術大会プログラム・役割分担決定  
通知

和歌山県病院協会

9月13日 令和4年度地域医療介護総合確保基金（事業区分6）の  
追加募集等について

日臨技

以上について報告。

#### 4. 学術部報告

##### 栗林学術部長より報告

##### ●日臨技生涯教育研修会助成金申請 2022/9/4 現在 10 件申請済み

行事名	開催日時	行事形態	開催場所	生涯教育教科	生涯教育科目	参加登録数
第1回和臨技微生物班研修会	2022/4/23	現地開催	公立那賀病院	基礎	臨床検査の基礎	29
第1回血液検査班研修会	2022/4/27	WEB開催	WEB	専門	検体検査	19
第1回生理検査班研修会	2022/4/28	WEB開催	WEB	専門	生体検査	24
第1回生物化学分析班研修会	2022/5/12	WEB開催	WEB	専門	検体検査	38
第1回輸血検査班研修会	2022/5/19	WEB開催	WEB	専門	検体検査	23
第1回総合管理班研修会	2022/6/9	WEB開催	WEB	基礎	管理運営	20
第2回血液検査班研修会	2022/7/27	WEB開催	WEB	専門	検体検査	26
第2回微生物班研修会	2022/8/27	現地開催	済生会和歌山病院	専門	検体検査	32
第3回血液検査班研修会	2022/9/28	WEB開催	WEB	専門	検体検査	0
第1回病理細胞班研修会	2022/10/2	WEB開催	WEB	専門	検体検査	0

今後予定されている和臨技災害フォーラム（大前理事）、精度管理報告会（中尾理事）の開催準備登録が完了した段階で報告頂ければ学術部長の方で申請対応いたします。

→中尾理事より質問。

精度管理報告会の開催日時が2月末と年度ぎりぎりであるが助成金申請手続きに問題ございませんか？

→栗林学術部長 例年その時期の申請で問題なく対応できております。

●和歌山県における生理機能検査室での感染対策に関するアンケートへのご協力をお願いします。

#### 5. 経理部報告

報告事項なし

#### 6. 各種委員会報告

##### ① 公益事業活動

##### 秋田理事より報告

全国「検査と健康展」の開催準備について

開催日時：10月29日（土）会場：イオンモール和歌山

使用会場は当初イオンモール内の空床区画使用の予定であったが、会場側の都合により最終イオンホールへ変更。

- ・検査と健康展用ポスター完成
- ・検体採取体験について

常務理事より提案

模型を用いた検体採取体験とあるが、これは鼻腔検体採取、鼻咽頭検体採取、どちらを対象の予定でしょうか？

懸念されるのは、鼻咽頭検体採取を体験すると危険を伴う可能性があるのではと考えますがいかがでしょうか。

→JAMT のパンフレットを用いて、鼻腔検体の正しい採取方法に特化した説明の方向に変更いたします。

秋田理事より最終完成のポスターの HP への掲載依頼あり。

## ② 定款・渉外

報告事項なし

## ③ 災害対策委員会

大前理事より報告（詳細は別紙議事録参照）

・ 県内施設災害時連絡網による訓練開催について  
今年度より訓練の運用に Google スプレッドシートを活用する予定である。開催は 10 月中旬から下旬にて検討中。

・ 令和 4 年度 大規模地震時医療活動訓練について  
10 月 1 日（土）開催予定、内閣府主催の訓練。  
県庁では医療調整本部は立ち上がり、DMAT による机上訓練のみとの情報から当会では見学内容になることから、今回の参加は見送ることとした。

・ 災害フォーラム 2022 開催について  
今年度は、“災害医療における臨床検査について考える”あるいは“臨床検査の災害対策 —災害時も検査を止めないために—”という内容について講演をお願いしてはと提案あり。  
講師の候補として、上道文昭 先生（東京医科大学病院 中央検査部 副部長）を検討中である。

・ ボランティア活動のできる技師育成研修会について  
今年度 2 月の開催を目指し準備中。実技ができなくとも、Web 開催も視野に入れ進める予定。

・ 大前理事より、災害対策委員名簿の更新依頼あり。事務局にて調整の上、HP 等への掲載対応。

## ④ 精度管理委員会

中尾理事より、精度管理調査に関する進捗報告（詳細は別紙参照）

・ 参加状況は最終 47 施設（昨年と同数）  
・ 設定不備について  
輸血手引書の交差適合試験の解答肢と日臨技システムの結果入力 of 解答肢が異なっていることが判明。会議により検討の上、入力期限 2 日前の段での修正→web 回収→広報→結果確認および修正入力完了は不可能であると判断し、設問自体を出題側の不備による評価対象外として対応。

・メーカーへの参考値提供依頼について  
 必要な分野別に趣意書を準備中。完成次第、公文書発番の上、事務局より  
 発送の予定。

令和4年度（第35回）和歌山県臨床検査技師会 臨床検査精度管理調査 年間予定表	
日程	内容
7/20（水）	申し込み期限
8/22（月）	試料到着
8/23（火）～9/1（木）	調査期間
9/2（金）	各施設からの結果入力期限
10/17（月）	精度管理調査願い各施設発行、施設別報告書JAMTQCシステムUP
11/8（火）	精度管理調査願い回収期限
2/14（火）	報告書JAMTQCシステムアップロード公開
2/15（水）	和臨技HPへ報告書アップロード公開
第42回和歌山学会 前日	精度管理報告会

### ⑤ 会誌編集

#### 橋本理事より報告

第 50 巻の会誌発行の予定

10 月に投稿募集と学術活動調査の依頼の発送手配の予定。

投稿募集は 12 月 12 日（月）締め切りの予定、HP 掲示済み

→発送物の手順について常務理事会にて確認した結果、昨年までの対応として基本完成した発送物については菌田理事の方でご対応頂いておりましたので、改めてその方向でご準備の程おねがいします。

### ⑥ ホームページ

特記事項なし

### ⑦ 会報

#### 葛原理事より報告

タスク・シフト講習会の開催模様などを中心にただいま準備中である。

現在会長に挨拶文の依頼中。

神藤副会長および会員の方にも参加感想文を依頼中。

### ⑧ 月例行事予定表

報告事項なし

### 7. タスク・シフトシェア指定講習会

- ・第 1 回講習会開催報告ならびに会計報告（別紙資料参照）

- ・第 2 回講習会進捗

2022 年 10 月 30 日（日）開催決定

場所：和歌山商工会議所

開催案内：和臨技 HP、日臨技申込画面に掲載中

講師：自治医科大学 味村俊樹先生  
和医大附属病院 看護師 山本美子先生  
和医大附属病院 看護師 紙屋侑平先生  
実技講習会申し込み期間中（9/14～10/20）  
申し込み状況 2022.9.17.AM11:30 現在  
申込申請済 18名

・第3回目（田辺市）  
2023年4月 予定 ⇒ 味村先生の予定確認必要  
場所：未定（第1候補 和歌山県立 情報交流センター ビッグ・ユ  
ー）

・備品について  
疑似血液を置く台、購入済み  
留置針の予備：和臨技予算で購入（購入数未定）  
日臨技への備品発注：来週、在庫備品数を確認後発注予定

・和歌山県内（2022年9月16日現在）  
指定講習会修了者 62名  
10/30講習受講予定者 18名  
実技研修事前基礎研修 履修済み 63名  
受講中 75名

**8. 第42回和歌山県医学検査学会**  
田原副会長より、別紙企画書・予算書について報告（別紙参照）  
テーマ「原点回帰」 ～新天地への再始動～  
試薬等の企業展示予定

会場：ホテル浦島 現状現地開催の予定  
会期：令和5年2月26日（日）

学会長：田原副会長  
実行委員長：くしもと病院 亀井技師  
事務局：葛原理事

**9. 第62回近畿支部学会**  
神藤副会長より報告  
会期 令和5（2023）年10月21日～22日  
会場 アバローム紀の国、和歌山県民文化会館

・和歌山県民文化会館での受付会場使用が、共有スペースのため許可され

ず。

→代替え案として、アバローム紀の国 1階フロアへの設置を検討中。  
フロント前をつぶさなければ利用可能。

・アバローム紀の国2階のギャラリー  
→改装の予定で貸し出しできないとの報告あり。

・確保会場は以下の通り。

アバローム紀の国 2階 鳳凰の間 3部屋

3階 孔雀の間 2部屋

4階 羽衣 1部屋

和歌山県民文化会館 特設会議室・特別会議室 2部屋

1階 展示室 1室

以上8会場確保済み。

・3団体合同開催による会場割り当てについて

→日本衛生検査所協会・日本臨床検査医学会への貸し出し会場をどちらにするかの決定が必要。

栗林学術部長より質問

→受付会場・PC受付・クロークは同じ場所になるでしょうか？

検査医学会の会場は決定していますか？

神藤副会長

→クロークは2階で決定であるが、PC受付は1階もしくは2階の可能性あり。

検査医学会の候補会場は羽衣の間か孔雀の間であるがまだ決定しておりません。学会長の古田先生と検討の予定です。

## 10. その他

・会長より、「報告事項に関しては必ず事務局に資料としての提出をお願いします。万が一間に合わない場合は、各自からのメール配信でお願いします。」

### ●質問

秋田理事より

・日臨技共済制度の申請条件について

感染症罹患共済金制度の申請条件に関して、業務中の感染が前提である記載があるがどのように申請すれば良いのでしょうか？

田中会長より

→業務中の感染である旨を所属長が判断すれば申請が可能である。

・令和4年度地域医療介護総合確保基金の追加募集等について

タスクシフトの補助金申請ということであるが、遡って既に受講済み分も申請は可能でしょうか

久保事務局より

→あくまで本年度分の申請としての取り扱いとなると聞いておりますが、詳細な判断については行政側の判断になりますので申請して頂いた上での対応となりますので確約は出来かねます。

田中会長より

→今のご質問も含め、後日 FAQ についても配布致しますのでご確認下さい。

・和臨技精度管理の受審証明について

近畿厚生局の監査の際に、外部精度管理の受審証明を確認した際に和臨技精度管理に関しても施設別報告書が証明として使用できましたが、この部分についての会員への周知案内はございましたでしょうか？

久保事務局より

→その旨については、各参加施設に対して精度管理委員長より周知案内は既に行っております。ただ、参加証明書の発行は今回できておりませんので、その部分でのご理解が頂けていない部分はあったかも知れません。

・本年度の和歌山県病院協会学術大会への参加について

和臨技の理事は基本参加する方向で考えておけば宜しいでしょうか？

田中会長より

→毎年、和臨技も役員として協力している事業ですので、積極的に参加頂くのは有難いです。また、今回の会場は次期近畿支部学会の会場としても利用する予定ですので下見も兼ねて参加頂ければと思います。

・検査と健康展のパネルについて

パネルの搬送についてはかなり大きなサイズと聞きましたが、今回機材の借用も含め大黒さんをお願いしておりますので、実務委員での搬送が難しいければそちらにご相談させて頂きたいと思います。

審議事項

●本年度の精度管理報告会の開催について（詳細別紙資料参照）

- ・本年度の学会関連事業は精度管理報告会のみか？
- ・学会関連事業以外に学会前日参集すべき行事予定はあるか？
- ・学会は対面のみで開催か？



以上を踏まえ、本年度の開催様式についてご審議頂きたい。  
久保事務局より  
→常務理事会での審議結果をご報告致します。  
ご提案頂いているとおり、和臨技精度管理報告会としての意義はもとより、日臨技施設認証制度への活用や学会前日の関連事業としての意義等、多岐に渡り非常に重要になってきております。これらを踏まえるとやはり、現地開催が望ましいとの結論に至っております。前回の開催に関しては、コロナ感染拡大に伴い学会も含め Web 開催となってしまった背景はございますが、ここは基本に立ち返りたいとの方針でいかがでしょうか。

中尾精度管理委員長  
→基本現地開催で進めることで理解しましたが、万が一学会自体現地開催が中止となった際には、精度管理報告会も中止の判断でよろしいでしょうか？

田中会長  
→そうすると、改めて施設認証諸制度への活用が出来なくなるので中止は避けたいと考えます。

神藤副会長  
→代替案として、基本は2月の学会関連事業として現地開催を目指すが万が一何らかの事情で中止になった場合の担保として、3月中に Web 開催する事を視野にいれた準備も同時に進めておくことは可能でしょうか？

中尾精度管理委員長  
→担当者のスケジュール調整と Web 開催用の Zoom ウェビナー等の対応準備さえ行えれば開催可能であると考えます。

**(審議事項まとめ)**

基本は現地開催を目指すが、万一の感染流行など不測の事態も踏まえて平行して Web 開催の準備も進めて頂く事で一致。

記録作成	令和4年10月6日	氏名	久保 光史	提出	令和4年10月6日
------	-----------	----	-------	----	-----------

※ 諮問委員会で「報告書」が提出される場合、「委員会議事録」が別途作成添付される場合は添付資料で可